

2 貯蓄の種類別の状況

(1) 定期性預貯金の占める割合が高い

全世帯について1世帯当たり貯蓄現在高を貯蓄の種類別にみると、定期性預貯金が763万円（貯蓄現在高に占める割合45.1%）と最も多く、次いで生命保険などが440万円（同26.0%）、通貨性預貯金が259万円（同15.3%）、有価証券が185万円（同10.9%）、金融機関外が45万円（同2.7%）となっている。

このうち勤労者世帯についてみると、定期性預貯金が521万円（同40.9%）と最も多く、次いで生命保険などが378万円（同29.7%）、通貨性預貯金が206万円（同16.2%）、有価証券が106万円（同8.3%）、金融機関外が63万円（同4.9%）となっており、全世帯と同様の順になっている。

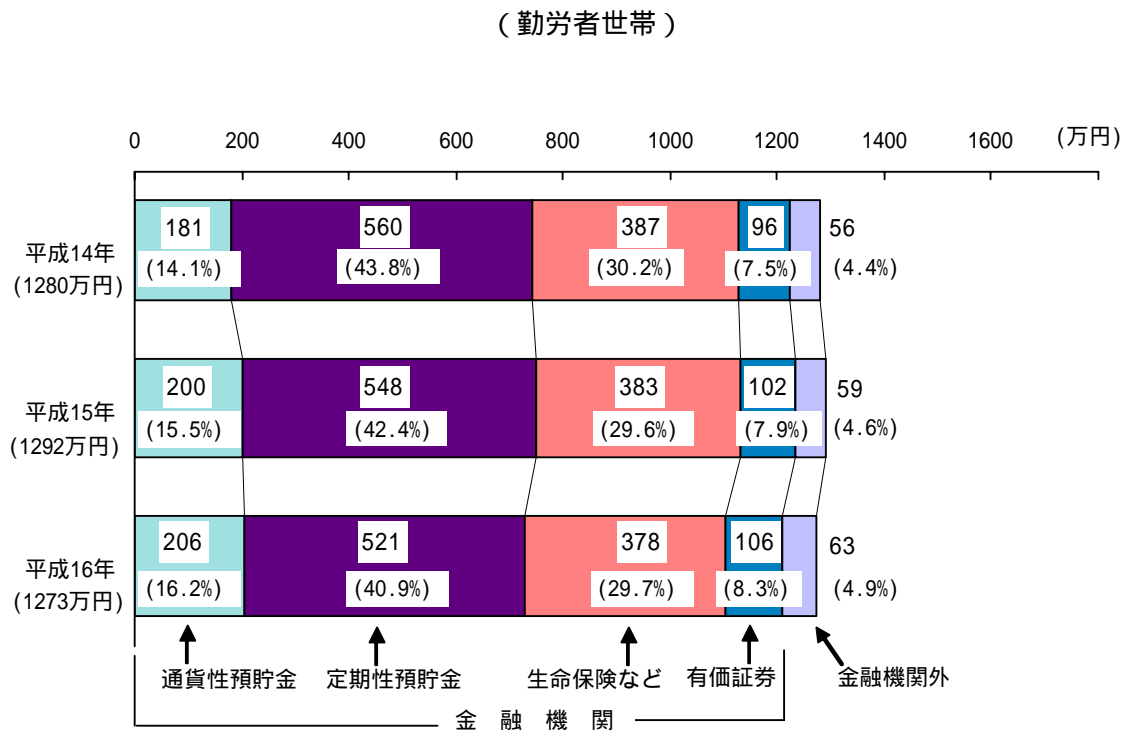
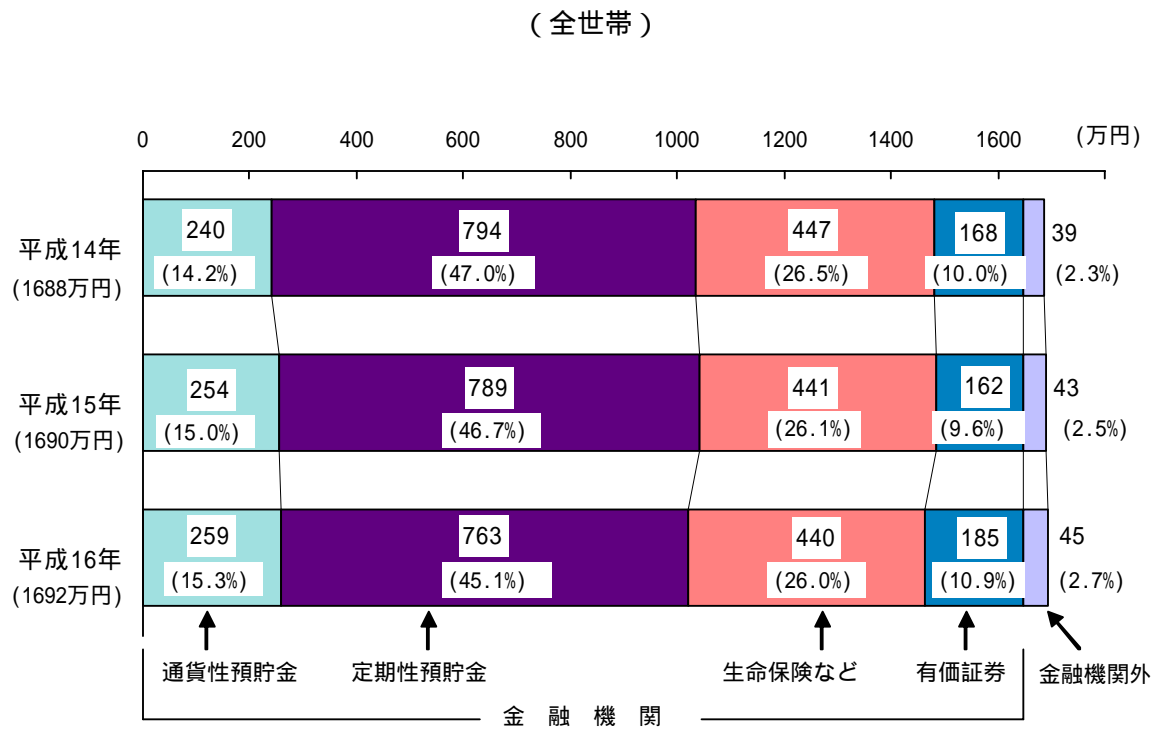
前年と比べると、全世帯及び勤労者世帯ともに、貯蓄現在高が多い定期性預貯金及び生命保険などが減少し、通貨性預貯金、有価証券及び金融機関外が増加した（図2、表2）。

表2 貯蓄の種類別貯蓄現在高の推移

項 目	全 世 帯							
	平成14年		平成15年			平成16年		
	金額 (万円)	構成比 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)
貯蓄現在高	1688	100.0	1690	100.0	0.1	1692	100.0	0.1
金融機関	1649	97.7	1646	97.4	-0.2	1647	97.3	0.1
通貨性預貯金	240	14.2	254	15.0	5.8	259	15.3	2.0
郵便局	62	3.7	66	3.9	6.5	65	3.8	-1.5
銀行等	178	10.5	189	11.2	6.2	194	11.5	2.6
定期性預貯金	794	47.0	789	46.7	-0.6	763	45.1	-3.3
郵便局	314	18.6	303	17.9	-3.5	290	17.1	-4.3
銀行等	480	28.4	486	28.8	1.3	473	28.0	-2.7
生命保険など	447	26.5	441	26.1	-1.3	440	26.0	-0.2
有価証券	168	10.0	162	9.6	-3.6	185	10.9	14.2
株式・株式投資信託	102	6.0	97	5.7	-4.9	120	7.1	23.7
貸付信託・金銭信託	22	1.3	19	1.1	-13.6	16	0.9	-15.8
債券・公社債投資信託	45	2.7	46	2.7	2.2	48	2.8	4.3
金融機関外	39	2.3	43	2.5	10.3	45	2.7	4.7

項 目	勤 労 者 世 帯							
	平成14年		平成15年			平成16年		
	金額 (万円)	構成比 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)	金額 (万円)	構成比 (%)	対前年 増減率 (%)
貯蓄現在高	1280	100.0	1292	100.0	0.9	1273	100.0	-1.5
金融機関	1224	95.6	1233	95.4	0.7	1210	95.1	-1.9
通貨性預貯金	181	14.1	200	15.5	10.5	206	16.2	3.0
郵便局	46	3.6	50	3.9	8.7	49	3.8	-2.0
銀行等	135	10.5	150	11.6	11.1	157	12.3	4.7
定期性預貯金	560	43.8	548	42.4	-2.1	521	40.9	-4.9
郵便局	236	18.4	223	17.3	-5.5	212	16.7	-4.9
銀行等	323	25.2	325	25.2	0.6	309	24.3	-4.9
生命保険など	387	30.2	383	29.6	-1.0	378	29.7	-1.3
有価証券	96	7.5	102	7.9	6.3	106	8.3	3.9
株式・株式投資信託	61	4.8	62	4.8	1.6	70	5.5	12.9
貸付信託・金銭信託	13	1.0	12	0.9	-7.7	10	0.8	-16.7
債券・公社債投資信託	22	1.7	28	2.2	27.3	25	2.0	-10.7
金融機関外	56	4.4	59	4.6	5.4	63	4.9	6.8

図2 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比



注) ()内は、貯蓄現在高に占める割合

(2) 貯蓄現在高が少ないほど通貨性預貯金の割合が高い

全世帯について貯蓄現在高階級別に貯蓄の種類別割合をみると、貯蓄現在高が少なくなるに従っておおむね通貨性預貯金の割合が高くなり、貯蓄現在高が多くなるに従って定期性預貯金及び有価証券の割合が高くなる傾向がみられる。

前年と比べると、貯蓄現在高が多くなるに従って定期性預貯金の割合が縮小する傾向がみられる(表3)。

表3 貯蓄現在高階級，貯蓄の種類別現在高(全世帯)

項目	平均	200万円未満	200万円以上 ~400万円未満	400~600	600~800	800~1000	1000~1200	1200~1600	1600~2000	2000~3000	3000万円以上
金額(万円)											
年間収入	650	482	547	613	642	615	680	688	711	723	790
貯蓄現在高	1692	75	292	491	691	892	1084	1383	1789	2434	5449
金融機関	1647	73	282	471	666	866	1044	1334	1718	2361	5343
通貨性預貯金	259	29	80	108	136	159	177	228	272	359	749
定期性預貯金	763	22	97	181	234	361	443	585	770	1115	2621
生命保険など	440	22	97	165	268	314	376	451	554	671	1143
有価証券	185	1	8	17	28	32	48	70	122	215	830
金融機関外	45	3	10	20	26	27	41	50	71	73	106
構成比(%)											
貯蓄現在高	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
金融機関	97.3	97.3	96.6	95.9	96.4	97.1	96.3	96.5	96.0	97.0	98.1
通貨性預貯金	15.3	38.7	27.4	22.0	19.7	17.8	16.3	16.5	15.2	14.7	13.7
定期性預貯金	45.1	29.3	33.2	36.9	33.9	40.5	40.9	42.3	43.0	45.8	48.1
生命保険など	26.0	29.3	33.2	33.6	38.8	35.2	34.7	32.6	31.0	27.6	21.0
有価証券	10.9	1.3	2.7	3.5	4.1	3.6	4.4	5.1	6.8	8.8	15.2
金融機関外	2.7	4.0	3.4	4.1	3.8	3.0	3.8	3.6	4.0	3.0	1.9
構成比の対前年変化幅(ポイント)											
貯蓄現在高	-0.1	-0.1	0.0	-0.1	0.3	1.0	-0.4	-0.3	-0.5	-0.2	0.0
金融機関	0.3	0.2	-0.9	0.4	1.6	1.4	-1.1	1.3	0.4	0.8	-0.1
通貨性預貯金	-1.6	2.4	0.1	1.5	-3.8	2.9	0.3	-1.1	-1.7	-2.3	-2.1
定期性預貯金	-0.1	-1.5	0.1	-2.6	1.7	-3.1	-0.2	-0.4	-0.8	1.2	0.2
生命保険など	1.3	0.0	0.7	0.3	0.8	-0.2	0.7	0.0	1.6	-0.1	2.0
有価証券	0.2	0.2	0.3	0.3	0.0	-0.9	0.5	0.4	0.5	0.2	0.0
金融機関外											